



平成 30 年 11 月 9 日

各 位

会社名 株式会社メディネット
代表者名 代表取締役会長兼社長 木村 佳司
(コード番号:2370 東証マザーズ)
問合せ先 経営管理部長 落合雅三
(TEL 045-478-0041)

営業外収益、特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 30 年 9 月 期 (平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日) における営業外収益、特別利益及び特別損失の計上について、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

第 3 四半期連結累計期間 (平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日) において為替差損 13 百万円を計上していましたが、為替相場の変動により、当第 4 四半期連結会計期間 (平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日) では、当社グループが保有する外貨建て長期貸付金の円換算等による為替差益が 14 百万円発生したことから、為替差益 921 千円を営業外収益に計上いたしました。

2. 特別利益の内容

第 1 回新株予約権 (業績達成条件付株式報酬型) について、新株予約権者の退職による新株予約権の消滅により、新株予約権戻入益 7 百万円を特別利益として計上いたしました。

3. 特別損失の内容

(1) 投資有価証券評価損の計上

当社グループが保有する投資有価証券のうち、簿価に比べて実質価額が著しく下落したものについて減損処理を行い、投資有価証券評価損 63 百万円を特別損失として計上いたしました。

(2) 貸倒引当金繰入額の計上

第 3 四半期連結累計期間 (平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日) において貸倒引当金繰入額 538 百万円を計上していましたが、為替相場の変動により、当第 4 四半期連結会計期間 (平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日) では、当社グループが保有する外貨建て長期貸付金に対する貸倒引当金繰入額が 13 百万円増加したことから、貸倒引当金繰入額 551 百万円を特別損失として計上いたしました。

(3) 事業構造改善費用の計上

第 3 四半期連結累計期間 (平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日) において事業構造改善費用 74 百万円を計上していましたが、当第 4 四半期連結会計期間 (平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日) では、希望退職者の特別加算金、事業拠点の集約に係る費用等 21 百万円を計上したことから、事業構造改善費用 96 百万円を特別損失として計上いたしました。

4. 業績に与える影響

上記の営業外収益、特別利益及び特別損失は、本日発表の「平成30年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以上